

いわて復興応援隊について

いわて復興応援隊（復興支援員）

いわて復興応援隊は、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化及び復興に向けた地域振興を支援するため、関係機関や地域住民との連携を図り、県内外から集まる人と人、地域と地域をつなぐ役割を担う人材として、岩手県が県内の被災沿岸市町村等に配置した「復興支援員」です。

復興支援員は、総務省が地方公共団体に対し、震災復興特別交付税により財政措置する制度で、当県では、県の復興支援員を「いわて復興応援隊」と称し、2012年10月から2023年3月まで、県が設置したいわて定住・交流促進連絡協議会の任期付き職員として採用し、県内の被災沿岸市町村を中心に57名を配置しました。

いわて復興応援隊のほか、「いわて三陸復興のかけ橋推進協議会（岩手県）、県内の市町村が設置した「釜援隊（釜石市）」や「やまだ復興応援隊（山田町）」、「大槌町復興推進隊（大槌町）」、「のだむら復興応援隊（野田村）」など多くの復興支援員が県内で活躍しました。

総務省 web サイト「復興支援員」より

「復興支援員」制度について

制度の概要

- 目的：被災者の見守りやケア、地域おこし活動などの「復興に伴う地域協力活動」を通じ、コミュニティ再構築を図る
- 実施主体：被災地方公共団体 ※東日本財特法に定める「特定被災地方公共団体」又は、「特定被災区域」を区域とする市町村（9県・227市町村）
- 設置根拠等：被災地方公共団体が定める復興計画やそれに基づく要綱等を根拠とし、被災地域内外の人材を委嘱
- 期間：概ね1年以上 ※第2期復興・創生期間（R3～R7）中
- 総務省の支援
 - ①復興支援員を設置する地方公共団体に対し震災復興特別交付税による財政措置（2011年度～）
 - ⇒ 報償費等及び所要の活動経費について特別交付税措置 ※地震・津波被災地域の「地域おこし活動の支援等」（注）については、令和7年度で措置を終了する。
 - ②その他、地域おこし協力隊等のノウハウを活かし、募集や研修、マネージメント、情報提供の面で地方公共団体をサポート
- 支援員数：199名（令和3年度復興特交算定ベース）20団体（3県・17市町村）

（注）「地域おこし活動の支援等」とは、復興支援員が従事する活動のうち、「心のケア等の被災者支援」以外のもの。

被災地域内外の人材を募集、受入れ

被災地方公共団体

支援

総務省

集落の再生 地域づくり

「復興支援員」が復興に伴う地域協力活動を実施

※東日本大震災財特法に定める「特例被災地方公共団体」又は、「特定被災区域」を区域とする市町村（9県・227市町村）

①復興計画等において「コミュニティの再構築に向けた」目的とする施策として位置づけ
②「復興支援員」として委嘱

（参考）総務省通知（2012年1月6日付け）

復興に伴う地域協力活動の例

- 住民の生活支援、見守り・ケア（当該活動と一体として行う相談業務を含む。）
 - ・仮設住宅等に居住する住民の巡回、話し相手、巡回時における住民からの健康・生活支援等に関する一般的な相談対応、適切な相談窓口の案内等
 - ・複数の仮設住宅等に分かれて居住する被災コミュニティの連絡調整
- 地域おこしの支援
 - ・地域行事、伝統芸能コミュニティの活動再開及び活動の応援等
 - ・都市との交流事業実施の応援等
 - ・地場産品の販売その他地産地消の推進のための取組の応援等
- 農林水産業への従事等

※具体的内容については、各被災地方公共団体が委嘱において地域の実情に応じ定める

全国の復興支援員の活動については、総務省 web サイトで紹介されています。

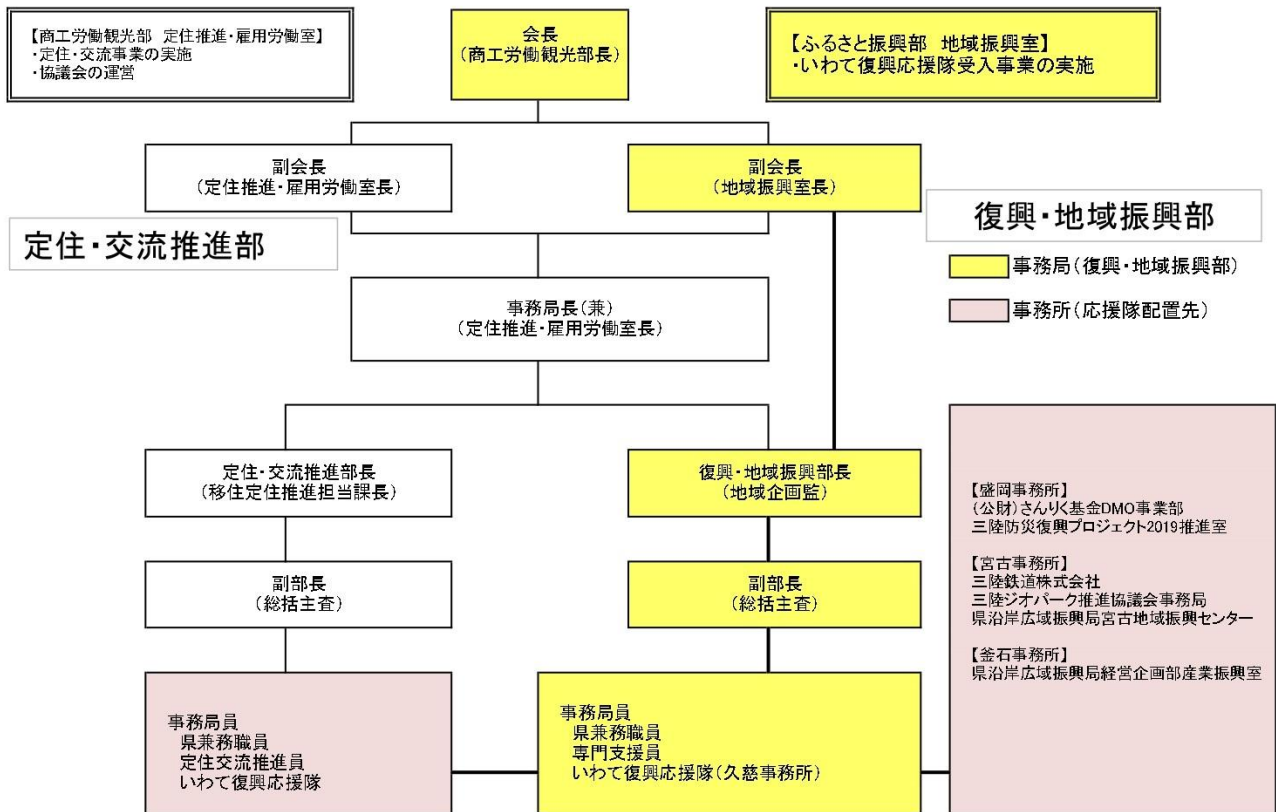
“総務省” ⇒ “地域力の創造・地方の再生” ⇒ “復興支援員”





いわて定住・交流促進連絡協議会

岩手への定住・交流促進に向けて、県・市町村・民間団体等の情報の共有化、ネットワークの構築を図ることを目的とし、2006年度(平成18年度)に県が設置した組織で、県と県内市町村のほか、民間企業、関係団体で構成されています。2019年4月1日付けで組織改正を行い、県庁の2つの部による共管体制となりました。

いわて定住・交流促進連絡協議会事務局の概要(2019年6月時点)



<p>復興・地域振興部 (県ふるさと振興部地域振興室)</p>	<p>定住・交流推進部 (県商工労働観光部定住推進・雇用労働室)</p>
<p>いわて復興応援隊受入事業 いわて復興応援隊募集・採用 隊員の活動及び生活支援、労務管理全般 隊員受入自治体及び受入団体との連携、調整 応援隊に関する情報発信 県内外の復興支援員・地域おこし協力隊との連携 復興支援団体等との連携</p> 	<p>定住交流促進事業 移住セミナー、いわて体験ツアーの企画・実施 移住希望者への相談対応 定住交流に関する情報発信</p> 

※ 復興・地域振興部は、2023年度から「いわて地域おこし協力隊受入事業」が加わり、県が事業主体となる地域おこし協力隊の受入をスタートさせています。

いわて復興応援隊の受入

2012年6月、県が沿岸の各市町村に「いわて復興応援隊受入事業」を照会し、応援隊配置を希望する市町村及び団体の審査を行いました。2012年7月、いわて復興応援隊の募集が開始され、全国紙に募集記事が掲載されると、問合せが急増し応募者は98人となり、書類審査の時点で当初の10人採用の枠を急遽15人に広げ、同年8月の東京と盛岡の採用面接で14人が選ばれます。

2012年10月1日、いわて復興応援隊の1期生14人が辞令を受け、沿岸各地で活動を開始しますが、その直後から配置先と応援隊との活動等のミスマッチなど様々な課題が発生し、応援隊受入のプロセスの見直しに迫られます。様々な課題を受け、受入を希望する市町村や団体に対し、現地調査やヒアリングを実施し、東京・盛岡での募集説明会には、現職の応援隊にも参加を依頼するなど活動や生活面でのミスマッチを防ぐための事前の対策を考えながら、2013年4月の応援隊2期生の着任を迎えました。

その後は、毎年幾人かの採用をつづけ、57人の応援隊が、三陸の復興に取り組みました。



いわて復興応援隊の受入体制

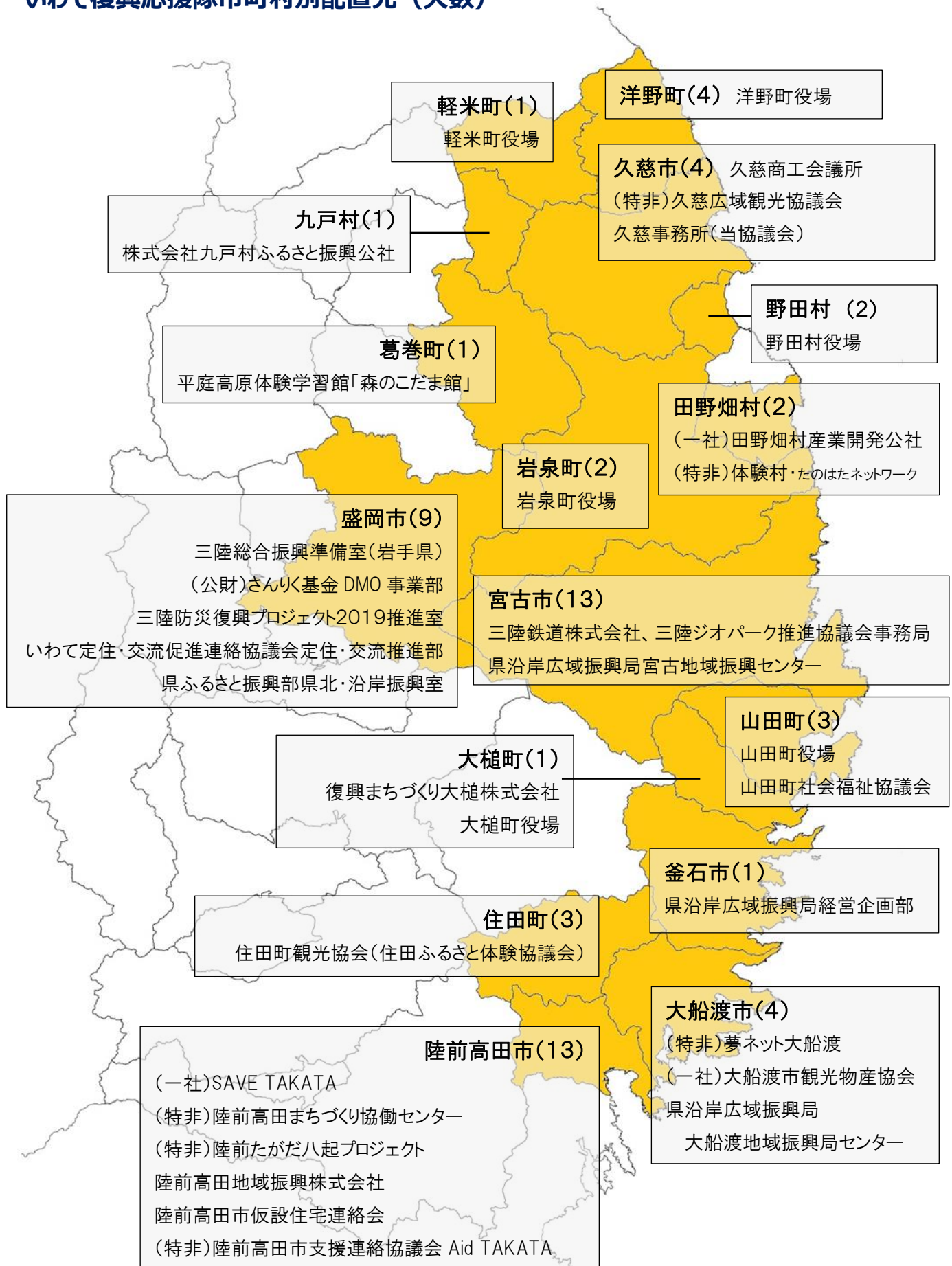
2012年10月の応援隊のスタート時点では、当協議会事務局には専任の職員はおらず、応援隊からの相談や課題発生への対応が困難の状況でした。

当時から応援隊受入を支援していた県委託事業「さんりく交流センター（三陸交流事業）」のスタッフが応援隊専門支援員として2013年4月から協議会事務局に入り、隊員活動のマネジメントをはじめ労務管理や隊員各自の生活を含めた個別相談など全面的に支援する体制を整えました。

専門支援員は、定期的に隊員配置先を訪問し、隊員や受入担当者とそれぞれ面談するなど、隊員の活動環境の保全・改善や関係機関との連携に取組み、応援隊の受入機関は、同協議会の現地事務所として、日常の業務管理、活動支援など事務局と連携して隊員の活動を支援していきます。

応援隊スタート当初は、県内にはまだ少なかった地域おこし協力隊や集落支援員等とも定期的な研修を合同で開催するなど各地域の地域づくり人材の交流・連携を図る機会を作り、また、東日本大震災被災3県の復興支援員の支援組織（みやぎ連携復興センター、ふくしま連携復興センター）と連携し課題を共有するなどより良い制度の運営に向けた取組も行いました。

いわて復興応援隊市町村別配置先（人数）



いわて復興応援隊配置先一覧（受入機関・期間・活動内容）

	配置機関(団体)名	市町村	期間・隊員数
1	三陸総合復興準備室(県政策地域部地域復興室)	盛岡市	2015年5月～2018年3月 5人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸沿岸地域の地域資源掘り起こし (観光業者等へのヒアリング、現地調査の実施、観光地魅力向上の検討) ・教育旅行の企画(教育旅行関係者へのヒアリング) ・現地調査等を通じた三陸の魅力情報発信(SNS) 		
2	公益財団法人さんりく基金 DMO事業部	盛岡市	2017年4月～2023年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の企画支援 ・三陸観光プランナー養成塾事務局運営支援 ・三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ」運営支援 ・三陸の地域資源等情報収集・取材 ・総合学習探求授業支援(県立盛岡第三高等学校等) 		
3	三陸防災復興プロジェクト 2019 推進室	盛岡市	2018年4月～2020年3月 4人
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村・団体、地域住民・学生のつながり作り ・プロジェクト運営支援(さんりく文化芸術祭 2019、三陸ジオパークフォトロゲイニングフェスティバル) ・開催記録作成及びプロジェクトの事業継承の支援 		
4	いわて定住・交流促進連絡協議会 定住・交流推進部	盛岡市	2018年10月～2023年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・定住・交流事業の支援に関する情報発信 ・移住相談窓口業務(電話、LINE等)、協力隊等のイベント参加 ・復興支援員、地域おこし協力隊の募集情報支援 		
5	県ふるさと復興部 県北・沿岸復興室	盛岡市	2020年4月～2023年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸防災復興プロジェクトのHP、SNSによる情報発信 ・復興支援マッチング支援(かけ橋プロジェクト) ・防災啓発イベントの取材、運営支援等(ぼうさい国体ほか) 		
6	三陸鉄道株式会社	宮古市	2013年1月～2023年3月 3人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸鉄道を活用した観光ツアーの企画、沿線企業と連携した特産品開発支援 ・イベントの記録写真撮影およびポスター、チラシ等の宣材制作支援 ・ラジオ番組企画制作(エフエム岩手「笑顔をつなぐ、ずっと…三陸鉄道」) ・SNS及び動画サイトでの情報発信 ・駅構内映像、中吊り広告ヘッドマークデザイン等 ・三陸国際芸術推進委員会運営委員として支援 		
7	三陸ジオパーク推進協議会事務局	宮古市	2014年5月～2023年3月 10人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク普及啓発活動(フォーラム、ジオツアー、啓発イベント等) ・三陸ジオパークガイド養成(講座、ガイド交流会、認定試験ほか) ・広報紙「さんりくジオだより」発行支援(取材、記事作成) ・県内学校でのジオ授業推進支援、「さんりくジオパークかわらばん」の運営 ・「みちのく潮風トレイル」「三陸鉄道」「三陸DMOセンター」との連携 		

いわて復興応援隊配置先一覧（受入機関・期間・活動内容）

	配置機関(団体)名	市町村	期間・隊員数
8	県沿岸広域振興局 宮古地域振興センター	宮古市	2019年5月～2023年3月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク現地推進員活動(中央ブロック担当) ・三陸DMOセンターとの連携支援 ・明日の浜人発掘事業支援、「いわて水産女子コミュニティ」立ち上げ ・水産業に関わる若者との交流・活動支援(地域おこし協力隊等) ・郷土芸能伝承活動支援(中野七頭舞など) 		
9	特定非営利活動法人 夢ネット大船渡	大船渡市	2013年4月～2017年3月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業支援(大船渡市と連携した起業者相談等) ・三陸鉄道活用事業支援(イベント列車の企画・運営) ・気仙地域対象のコミュニティ誌「復興ニュース」の発行・配布支援 ・仮設住宅住民とのふれあい(英語カフェ等)及び傾聴活動 ・支援物資の配布及びボランティア受け入れ支援 		
10	一般社団法人 大船渡市観光物産協会	大船渡市	2013年4月～2018年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光再生に向けた支援(さんま焼きイベント、教育旅行誘致、ガイド養成講座など) ・地域素材の発見、情報収集と発信、広報物品の制作支援(チラシ、グッズ、キャラクター等) ・基石海岸インフォメーションセンター(同キャンプ場)の施設運営支援 ・防災・震災ガイドの運営サポート、三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルとの連携 		
11	県沿岸広域振興局 大船渡地域振興センター	大船渡市	2018年6月～2019年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク現地推進員活動(気仙エリア担当、関係者との交流) ・三陸DMO地域連携活動(イベント運営、情報発信) ・気仙地域の地域振興・復興支援関係団体との連携、地域ニーズ調査、情報発信 ・災害ボランティアの実践と現地レポート 		
12	久慈商工会議所	久慈市	2013年4月～2018年4月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・街なか活性化事業、連続テレビ小説「あまちゃん」関連イベント運営支援 ・地域資源を活用した観光商品開発・新しい観光スポット作りほか ・地域活性化イベント企画運営支援(事業者、地域の若者との連携、PR 隊結成) ・県外における久慈地域 PR 活動(商談会、あまロスツアー、観光プロモーションなど) 		
13	特定非営利活動法人 久慈広域観光協議会	久慈市	2018年5月～2019年5月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・県北沿岸地域のツアー造成(洋野・久慈・野田・普代) ・三鉄との連携による観光振興 ・グリーンツーリズム、体験プログラムの造成ほか 		
14	いわて定住・交流促進連絡協議会 久慈事務所	久慈市	2019年5月～2023年3月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク現地推進員活動(北部ブロック担当) ・三陸DMO地域連携活動(イベント運営、情報発信) ・一次産業の振興支援 ・みちのく潮風トレイルの現地対応等の連携 ・地域おこし協力隊との連携・交流、活動支援 ・地域団体、地域事業者とのまちづくり連携活動 ・ドローンによる上空からの動画撮影による、北三陸の情報発信支援 		

いわて復興応援隊配置先一覧（受入機関・期間・活動内容）

	配置機関(団体)名	市町村	期間・隊員数
15	一般社団法人 SAVE TAKATA	陸前高田市	2012年10月～2017年9月 4人
	<ul style="list-style-type: none"> ・復興支援協力団体のコーディネート、マッチング支援 ・被災地のITスキル向上、在宅ワーク就労支援、高校生キャリアアップ支援 ・復興商店調査及び商店街マップ(陸前高田復興マップ)等の制作、アプリ開発支援 ・地元農産物の6次化・ブランド化、農業の担い手づくり・若者就農体験支援 ・被災事業者及び新規事業者支援のためのwebサイト開設 ・被災地ボランティア・インターン・移住を希望する大学生交流支援 		
16	特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター	陸前高田市	2013年1月～2018年4月 5人
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりコーディネーター育成講座運営 ・市民活動や地域団体の活動支援 ・災害復興住宅の自治会立ち上げ等地域コミュニティ支援 ・「陸前高田市まちづくりプラットホーム」事務局運営支援 ・「高田大隅つどいの丘商店街」復興に関するイベント企画をはじめ運営支援 		
17	特定非営利活動法人 陸前たがだ八起プロジェクト	陸前高田市	2013年4月～2018年4月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリア仮設住民支援事業(仮設住宅サポートセンター運営) ・仮設住民の見守り支援、自立支援サポート、子供の居場所支援 ・県外交渉事業推進支援(中越地震災害地域ほか) ・災害公営住宅住民のコミュニティ形成支援、高齢者買い物サポートほか ・外部支援によるボランティアの受け入れサポート 		
18	陸前高田地域振興株式会社	陸前高田市	2013年4月～2016年4月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ「陸前高田のうまいもの たがだ屋」運営サポート ・販促ツールデザイン(チラシ、ポスター、POP、特産品ラベルデザイン等) ・陸前高田物産センター及び東京、名古屋での特産品販売 		
19	陸前高田市仮設住宅連絡会	陸前高田市	2013年4月～2015年3月 3人
	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅自治会サポート(交流イベント運営、住民サポートほか) ・住民、行政、関係各所との連絡調整支援 ・仮設住宅住民と外部をつなぐコミュニティ紙「連絡会通信」発行 ・陸前高田復興の定点記録(連絡会通信に掲載) 		
20	特定非営利活動法人 陸前高田市支援連絡協議会 Aid TAKATA	陸前高田市	2014年5月～2015年4月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田災害FMパーソナリティー、番組の地域情報取材(暮らしの情報、ボランティア情報、行政情報など) ・地域イベント運営支援(企画、MCほか)、情報発信ほか 		
21	県沿岸広域振興局 経営企画部産業振興室(釜石)	釜石市	2018年6月～2013年3月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク現地推進員活動(南部ブロック担当) ・三陸ジオパーク及び三陸DMOセンターに係る気仙エリアのサポート ・地域イベントの企画(三陸ジオフォトログ in 宮古ほか) ・三陸DMO地域連携活動(イベント運営、情報発信) ・「さんりく旅するべ」「ジオだより」への寄稿協力、三陸の季節の移り変わりを画像で発信。 		

いわて復興応援隊配置先一覧（受入機関・期間・活動内容）

	配置機関(団体)名	市町村	期間・隊員数
22	いわて体験交流施設 平庭高原体験学習館「森のこだま館」	葛巻町	2013年2月～2014年9月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習のサポート、来場者案内サポート ・被災地との交流事業支援ほか ・応援隊連携による地域特産品の販促支援 		
23	住田町観光協会(住田ふるさと体験協議会)	住田町	2012年10月～2018年4月 3人
	<ul style="list-style-type: none"> ・着地型観光基盤整備支援(グリーンツーリズム、インバウンド受入体制づくりなど) ・住田町観光PRキャラクター(すみっこ)による地域活性化プロモーション推進 ・町民ガイドの立ち上げ、民泊受入先開拓、教育旅行受け入れ支援ほか ・特産品の県外PR及び販促支援 ・仮設住宅入居者と地域住民、県外ボランティアとのコミュニティ支援 		
24	復興まちづくり大槌株式会社	大槌町	2013年4月～2017年5月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設「ホワイトスペース大槌」開設準備・運営支援 ・交流イベント運営(ヒルクライム、船釣大会) ・コミュニティ施設 浪板海岸ヴィレッジ管理・運営支援 ・ふるさと納税特産品贈呈事業、県外交流拠点での特産品販売支援 ・大槌町復興推進隊(協力隊)のマネジメント及び活動支援 		
25	大槌町商工観光課	大槌町	2017年5月～2018年4月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌町観光交流協会の設立支援 ・大槌駅窓口業務の支援 ・復興まちづくり大槌(株)からのイベント事業等の継承(ヒルクライムほか) 		
26	社会福祉法人 山田町社会福祉協議会	山田町	2013年4月～2016年4月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外交流イベントの企画・運営、子供の遊び場創出(サマーチャレンジやまだ等) ・ボランティアの受け入れ・マッチング支援 ・住民ボランティア活動啓発支援(小・中高校生ボランティア講座ほか) ・津波被災写真の洗浄、返却、デジタル化支援(思い出写真展) 		
27	山田町	山田町	2013年6月～2014年5月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の復興計画検討及び遂行支援 (関係者調整、事業者ヒアリング及びワークショップの実施、補助金等の情報収集及び情報提供など) ・仮設商店街活性化の仕掛けづくり(100円商店街等のイベント企画・運営) ・各種補助金等の申請及び報告書の作成支援 ・山田町復興支援員(やまだ復興応援隊)の立ち上げ、募集、活動サポート 		
28	岩泉町	岩泉町	2012年10月～2016年3月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光用PRツール、動画作成支援 ・三陸鉄道とのタイアップ事業(車内イベント) ・地域交流プロジェクト推進(着地型旅行商品造成) ・龍泉洞冬季観光等「恋人の聖地」事業推進 ・県外イベントでの町内特産品の販売支援 		

いわて復興応援隊配置先一覧（受入機関・期間・活動内容）

	配置機関(団体)名	市町村	期間・隊員数
29	軽米町	軽米町	2012年10月～2017年9月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農林畜産物の付加価値化(さるなし、かつけ、雑穀ほか) ・地域イベント企画運営支援(芝桜チューリップウォーク、森林ウォーキング、食フェスタ in かるまい等) ・県外での軽米町魅力PR(いわて銀河プラザ出店、町イチ！村イチ！) ・ゆるキャラ(かるるん)との地域PR、SNS等による情報発信 		
30	洋野町	洋野町	2012年10月～2017年9月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・町の公式ブログ「ひろのだよ」による情報発信(地域の人、街の魅力発信) ・県外での物産販促サポート ・「洋野エモーション」の立ち上げと地域住民との協力運営 ・洋野町エコツアー・モニターツアーの企画・運営支援 ・小学校の総合学習(講師)、地域の魅力をテーマにした講演 ・県外からの修学旅行(震災学習)の受け入れ及び取材と情報発信 		
31	特定非営利活動法人 体験村・たのはたネットワーク	田野畑村	2013年4月～2018年4月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の観光再生支援(サッパ船運営、大津波語り部ガイド等体験プログラム支援) ・地域素材の発見・情報収集と情報発信 ・教育旅行及び観光客の誘致推進支援(修学旅行誘致説明会、全国ほんもの体験フォーラムなど) 		
32	一般社団法人 田野畑村産業開発公社	田野畑村	2013年4月～2015年10月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材を活用した特選品の企画・開発(地域女性部と連携) ・ネット通販の企画・運営及び販売促進活動(物産展及びイベント等への出店支援) ・「たのはた未来プロジェクト」の立ち上げ及び地域情報発信(SNS、ブログ、メルマガ) 		
33	野田村	野田村	2012年10月～2017年9月 2人
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産館ぱあぶるの通販サイト「ネットぱあぶる」リニューアル、Facebook ページ作成 ・山葡萄ワインの販促支援 ・”荒海”商品のブランディングと販促プロモーション、公式サイト制作・運営支援 ・コミュニティ施設の活性化(野田村ヒップホップダンスの取組み) ・地域の魅力情報発信ブログ「のだ村に暮らすのだ！」 ・体験ツアー企画・交流事業推進「野田村ファッションショー」 ・復興支援活動団体「チーム北リアス」との連携 		
34	株式会社 九戸村ふるさと振興公社	九戸村	2012年10月～2017年9月 1人
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産品「あま茶」のPR及び販促支援(風評被害対策支援) ・未利用地域資源の有効活用(マタタビ) ・地域資源を活用した新商品開発(イワテヤマナシ) ・「オトデ館」運営及び情報発信支援 		

※配置人数は、配置換えとなった人数を含む